

令和6年度第1回大洗町地域公共交通会議 議事録

日 時： 2024/12/11(水)13:30～14:40

場 所： 大洗町役場 会議室

出席者： 関会長、山田副会長、飯田委員、大里委員、小林健委員、飛田委員、
吉川委員、鬼沢委員代理、栗田委員、古賀委員、服部委員、峯岸委員代理、
菊池委員代理、菅原委員、小林美弥委員、大川委員、田中委員、長谷川委員、
深作委員、林委員代理、芦野委員代理
事務局

大洗町役場まちづくり推進課 海老澤課長、鈴木係長、深谷
株式会社アルメック

資料： ・次第
・出席者名簿
・資料 1_大洗町 500 円タクシーの実証実験結果(概要版)
・参考資料 1-1_大洗町 500 円タクシー実証実験結果
・資料 2_町内交通網の再編の検討について
・資料 3_令和 5 年度事業報告及び収支決算について

1. 開会

2. 会長挨拶

○対面での開催は1月以来 11 ヶ月ぶりとなる。昨年度は皆様の忌憚のないご意見のおかげで地域公共交通計画が策定できた。計画には再編の6つの方向性を示し、施策として町内循環バスの再編と新たな交通サービスを示した。今年度は2回会議を予定しており、具体的な検討をしていきたい。今運行している 500 円タクシーの実施状況や、各地区の実態も踏まえ、次回会議では具体的な再編案を考えていく。(会長)

3. 議題

(1) 大洗町 500 円タクシー実証実験結果について

○(資料1について説明)(事務局)

○500 円タクシーの実証実験結果、アンケート結果、評価、改善点について説明があったが、こういった点はどうかなどの質疑はあるか。満足度が高い状況だが、利用状況の見方についてなど意見を頂きたい。(会長)

○500 円タクシーは使っている方にはなくてはならないものになっている。今後の考え方としては、登録されている方が人口の1割という点について、周知が足りないのか、家族の送迎などで満足しているということなのか検討する必要がある。後者であればこのサービスの対象者は町民

全体ではなく困っている人に絞られるため、登録者数は一定数より増えなくなる。その辺りが今後見ていくポイントになる。(委員)

○今回、登録しているものの利用していない方にもアンケートを実施したが、どういった回答内容だったか。(会長)

⇒登録者のうち利用していない方は5割程度となっている。まだ自分で運転している、家族等の送迎があるなど困っていない、健康のために自転車や徒歩で移動したいという意見があった。もしもの時のためにあると安心という声があった。(事務局)

○500 円タクシーによって昼間の閑散時間帯にタクシーが稼働し、ありがたい。現在運行している2事業者では予約がいっぱいになり、緊急の用事に間に合わない可能性がある。ひたちなか市の事業者で大洗町内でも運行しているタクシーも 500 円タクシーとして使えるようになると改善できる。今後 20 年間、後期高齢者が増え、バス停まで歩けない人が増え、ドア・ツウ・ドア型サービスの需要が高まる。500 円タクシーはお客様に喜ばれている。ハイヤー・タクシー協会の他の事業者のタクシーも使えるようにして、利用者の予約にすぐ行ける体制を作ると利用者に喜ばれる。(委員)

⇒事業者を増やすことについて、意見はあるか。(会長)

⇒まずは地元の事業者の考えを聞いてみる必要がある。本当は町内に営業所がある事業者が良い。免許返納者も増えていくと思うので 500 円タクシーを継続できると良い。(委員)

○将来的な話として、スマートフォンアプリを入れるかどうか。500 円タクシーの利用者のほとんどが高齢者のためアプリを使える人は今は少ないが、今スマートフォンを使っている世代が高齢者になる先々には誰でもアプリを使えるようになるはずである。将来を見据えてアプリの導入を検討すべきである。(委員)

⇒500 円タクシーの今の予約方法はどうなっているか。(会長)

⇒今はタクシー会社に電話する形である。今後アプリを使える層が利用対象者層になると、利用者にとってもアプリの方が使いやすく、タクシー会社も運行管理などをしやすくなる。今後検討していく。(事務局)

⇒事業者が増えたとそれぞれのタクシー会社に電話をかけるのも大変になる。その意味でもアプリは良いと考えられる。(会長)

(2) 町内公共交通網再編方針について

○(資料2について説明)(事務局)

○再編の具体的な検討に向け、検討フローと再編の視点について資料2にある内容で良いか確認したい。意見はあるか。(会長)

⇒(委員より意見なし)

⇒意見はないようなのでこの進め方とする。(会長)

○議論が拡散しないよう地区を絞って取り上げていく。まず中心部について意見はあるか。(会長)

⇒ひたち海浜公園のネモフィラの時期には那珂湊おさかな市場からアクアワールド大洗まで2時

間以上かかるほど渋滞しており、大きな課題である。せっかく多くの観光客が来訪しているので、ひたちなか市とともに取り組むべきではないか。例えば、駅から海岸までの通りで朝市を開催してはどうか。那珂湊おさかな市場の 1 ヶ所しかない駐車場入口を増やすと渋滞が緩和できるのではないか。駐車場代が 100 円で安いので高くしても良いのではないか。街中の空き家や空き地を活用して駐車場にしてはどうか。大洗町の魚や野菜を売り出せば多くの人が来るだろう。大洗港には北海道から船が来ているので北海道の農産物も売っても良いと思う。ネモフィラ観光の帰りに町内で買い物してもらえれば大きな経済効果がある。また、通行料が有料でも良いので涸沼川に橋がもう一本欲しい。(委員)

⇒議会からも色々な意見が出ているところであり、観光客が多すぎるあまり町民の生活に支障が出ている。涸沼川への架橋については県にも働きかけているところである。(会長)

○駅から中心部を循環する交通手段について、事務局にイメージはあるか。(会長)

⇒効果的と考えられる交通手段としては町内循環バスが考えられる。今の町内循環バス海遊号は観光、生活、通学と利用目的が混在しているので、整理して運行することが考えられる。加えて、タクシーの運賃補助によりドア・ツウ・ドア型で自由な場所で乗降できる交通手段や、グリーンスローモビリティも考えられる。(事務局)

○海遊号は観光客と町民の交通手段としての利用が多い。運行内容を変えやすいのはなっちゃん号ではないか。町の行政サービスとして南部の交通手段をどうするかによってなっちゃん号の使い方も変わってくる。補助系統の路線バスはルートを変えづらいが、コミュニティバスは柔軟である。公共交通不便地区も含めて全体的に考えていく必要がある。(委員)

○公共交通不便地区の現状と方向性について資料2に示されているが、事務局から地区別に具体的な交通手段の案について考えはあるか。(会長)

⇒祝町地区西部はデマンド型乗合タクシーか 500 円タクシーが効果的と考えられる。五反田地区は他地区の再編とあわせて町内循環バスを通すか、ワゴン車のバスの運行、デマンド型バス、デマンド型乗合タクシー、500 円タクシーが考えられる。明神町地区は道路が狭隘で大きい車両が通れないためデマンド型乗合タクシーか 500 円タクシーになる。南部は再編の上、町内循環バスかワゴン車のバス、あるいは 500 円タクシーのようなドア・ツウ・ドア型が考えられる。(事務局)

○次回の会議でどこまで詳細な検討をするか。スケジュール的には突飛なものは考えづらい。全ての課題に対して次回の会議で解決策を示すのは難しいので、とりあえずすぐに検討することと 3～4 年後に検討することを分けて考えた方が良いのではないか。また、500 円タクシーを運行開始したばかりでデマンド型乗合タクシーを運行開始すると混乱する。すぐにできそうなこととしては、路線バスと町内循環バスの重複区間の解消と、観光地を巡るルートである。それに向けて海遊号となっちゃん号の再編をすることが次回の会議の議題になるかと思う。(委員)

⇒スケジュール感も含めて事務局から意見あるか。(事務局)

⇒予算も踏まえつつ取り組みやすいのは町内循環バスの再編である。500 円タクシーの利用状況も見つつ随時見直ししていく。(事務局)

⇒町内循環バスの再編はいつ頃を想定しているか。(会長)

⇒今年度ルートの方角性を決め、令和7年度に申請と周知、令和8年度の運行開始を考えている。
(事務局)

○観光地と大洗駅の接続について意見を募る。足を確保しても渋滞の問題があるが、意見はあるか。(会長)

⇒常に渋滞しているわけではないが、限られたシーズンには渋滞が深刻になるという状態である。
どのように捉えるべきか。対応を考えていく必要がある。(委員)

⇒事務局として考えていることはあるか。(会長)

⇒最も渋滞が深刻なのは祝町交差点なので、新ルートではそこを通らないよう考えていきたい。
(事務局)

⇒祝町交差点については路線バスも通っており、右折信号が短くなかなか曲がれない状況である。水戸警察署に要望しているところではあるが、改めて今後の渋滞対策として考えてほしい。
アクアワールド大洗と大洗町卸売市場はセットで観光されているため、ゴールデンウィークなどは海沿いの道も渋滞している状況である。大洗港駐車場を活用したシャトルバスを実施したこともある。渋滞の実態を詳細に把握できる手段があると良い。また、ひたちなか市とも連携して対策してほしい。現在土日しか町内循環バスが運行していないめんたいパークも需要が増えているので、観光ルートで毎日経由すると良い。町民の利用との共存、観光協会の意見も踏まえて考えていくと良い。(委員)

⇒渋滞は駐車場待ちの車が道路を塞いでいるものであり、先へ通過したいバスや町民の車と共存できないのが問題である。観光客の車がどこかで待っているしかないので、町として場所の使い方を考えていく必要がある。(委員)

⇒事務局の意見を聞きたい。(会長)

⇒公共交通の再編と渋滞の課題は両方あわせて検討していく必要があるが、この会議の中では公共交通の再編について議論していただけると幸いである。渋滞問題については新技術も含めアンテナを立てて別に考えていく。(事務局)

⇒公共交通としては今の状況の中で考えていくしかない。(会長)

○大洗南小学校への通学対応の交通手段について事務局から案はあるか。(会長)

⇒大洗駅から大洗南小への海遊号大洗南ルートは、登下校の利用が多くその他の時間帯の利用が少ない状況なので、ルートを再編し、効率化を検討する。南部のなっちゃん号は通学の利用も少ないので、ルートを見直して他の地区にバスを回すことを考えている。(事務局)

○路線バスと町内循環バスの重複区間の解消について、意見はあるか。(会長)

⇒路線バスの大洗駅への乗り入れは、町内での利用も増えていることから以前より検討しているところである。TAIRAYA 前バス停は利用者が多く外せないため、周回ルートではなく往復ルートで駅へ乗り入れることが現実的である。駅への乗り入れ部分が往復ルートになってしまうため、手前から乗っている乗客には不評かもしれない。数百 m なので課題は少ないが、駅への乗り入れによって大洗駅より先の水戸方面まで乗る人が減ってしまうと事業者としては収入が減

ってしまう。ただ、補助も受けている路線なので、地域の要望にも沿っていききたい。幹線補助は毎年10月～翌年9月の期間で申請しているので、ルート変更する場合は補助期間開始の10月に合わせると良い。町内循環バスと重複するのは致し方ない部分もある。路線バスのルートは変更しづらいので、町内循環バスで対応を考えてほしい。地域住民と調整を図りながら進めてほしい。(委員)

⇒会議の中では路線バス、町内循環バスだけでなく総合的に考えていく。その他意見はあるか。(会長)

⇒路線バスの大洗駅への乗り入れはありがたい。利用者が増えることが期待できる。町内移動が便利になることで鉄道利用も増えると思う。(委員)

○次回会議で提示される再編案の資料はどのようなイメージか。(会長)

⇒事務局で再編案の具体的なルートなどを示したいと考えている。(事務局)

⇒事業収支やスケジュールも含めて提示されるという認識で良いか。(会長)

⇒運行形態、ルート、運賃、運行時間帯、停留所等と、利用者需要の推計、事業収支の試算、導入スケジュールについても事務局で整理する。(事務局)

⇒できたら早めに各委員に資料を配ってほしい。(会長)

(3) 令和5年度事業報告及び収支決算について

○(資料3について説明)(事務局)

○資料3の報告で良いか。(会長)

⇒異議なし。(全委員)

⇒この内容で承認する。(会長)

4. 閉会

以上